

10月は男女共同参画推進月間

# 男性の家事・育児

## 男女がともに輝く社会に



### ■家庭における男女の負担

国が行った調査では、子どものいる共働き世帯の家事や育児の時間は、女性が男性の2倍以上となっています。男性の家事などの時間は少しずつ増加しているものの、女性の負担が依然として大きい状況にあります。

### ■男性の「働き方」の見直し

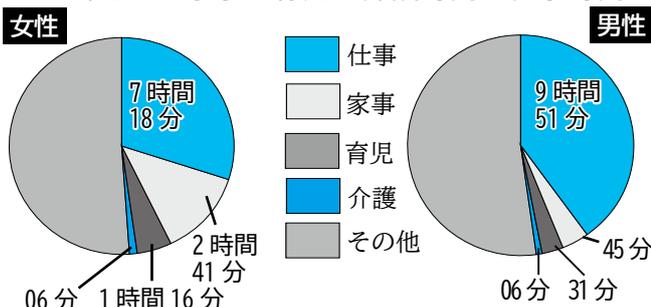
男性の家事・育児時間が短い要因の一つには、男性の労働時間が長いことが挙げられます。男性が仕事と家庭生活を両立するためには、働き方の見直しを積極的に進めることが必要です。

### ■家族でコミュニケーションを

家事や育児にかかわる役割分担は家庭によってそれぞれです。家庭内でコミュニケーションをしっかりととり、お互いがで

男女共同参画は、女性だけでなく男性にとっても生きがいのある社会を目指す上で重要です。平成9年以降、共働き世帯数が専業主婦世帯数を上回り、家族の形態が多様化する中で、男性の家事・育児への参画は、家族みんなで支え合う家族愛の形成につながります。

### 1日当たりの家事・育児・介護時間と仕事時間



出典：令和2年版男女共同参画白書（内閣府）

きることを協力し合うことで、時間的な余裕や心のゆとりも生まれます。この機会に、皆様のご家庭でも、自分たちに合った家庭生活や働き方について話し合ってみてはいかがでしょうか。



株式会社 大谷山荘  
総務部総務リーダー  
金子 展之さん

当社では、昨年、男性職員が一人、1カ月超の育児休業を取得しました。女性も育児休業後に職場に復帰する職員が多く、出産を機に退職する職員はほとんどいません。

### 男性の家事・育児と仕事の両立に向けて

男性が育児参加しやすい職場環境づくりに取り組む事業所の担当者にお話を伺いました



組合長が男性職員の育児を積極的に応援しており、職場の雰囲気が変わってきています。

男性職員向けに、育児休業の制度をお知らせするチラシを作成して配ったり、当組合独自に、

育児休業終了後、スムーズに職場に復帰できるように、職員の勤務しやすい時間帯に勤務してもらったり、正職員のまま、一日の勤務を短時間で選択することもできるようにしています。

休んだ職員の補充やどのように人を配置するかが課題ではありますが、気持ちよく働いてもらうためには、その人に合った働き方を会社として配慮することがベストだと考えています。

短時間勤務を小学校就学前まで取得することができる制度をつくったりしました。

おかげさまで、育児休業を取得する男性職員も出てきています。また、定時に帰るように呼びかけを続けた結果、時間外勤務は減少してきています。

制度の周知が十分でない点もありますが、今後も休みやすい職場づくりに努め、職員は家族のためにも、育児休業を取得してほしいと考えています。



深川養鶏農業協同組合  
総務部総務課課長代理  
小林 香織さん